

コード No. 10171

**Anti-Human
OGG1 (7E2) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : 細胞中の DNA は、多様な外部および内部要因によりたえず損傷を受けています。これらの損傷に対し損傷塩基特異的なグリコシラーゼが働き、損傷塩基とデオキシリボースとの N-グリコシド結合を加水分解により除去し DNA を修復する機構が知られています。OGG1 はこれらのグリコシラーゼのうち、8-オキシ-グアニン残基を基質とする酵素です。
- 免疫抗原 : Recombinant Human OGG1
- 起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 7E2 サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : トランスフェクタントにて確認
- 文献 : Shinmura K., *et al.* Expression of the OGG1-type 1a (nuclear form) protein in cancerous and non-cancerous human cells. International Journal of Oncology 2000 16: 701-707.